COAR community framework検討タスクフォース
活動報告

COAR community framework検討タスクフォースとは

概要

- 2021年度に新規設置されたタスクフォース

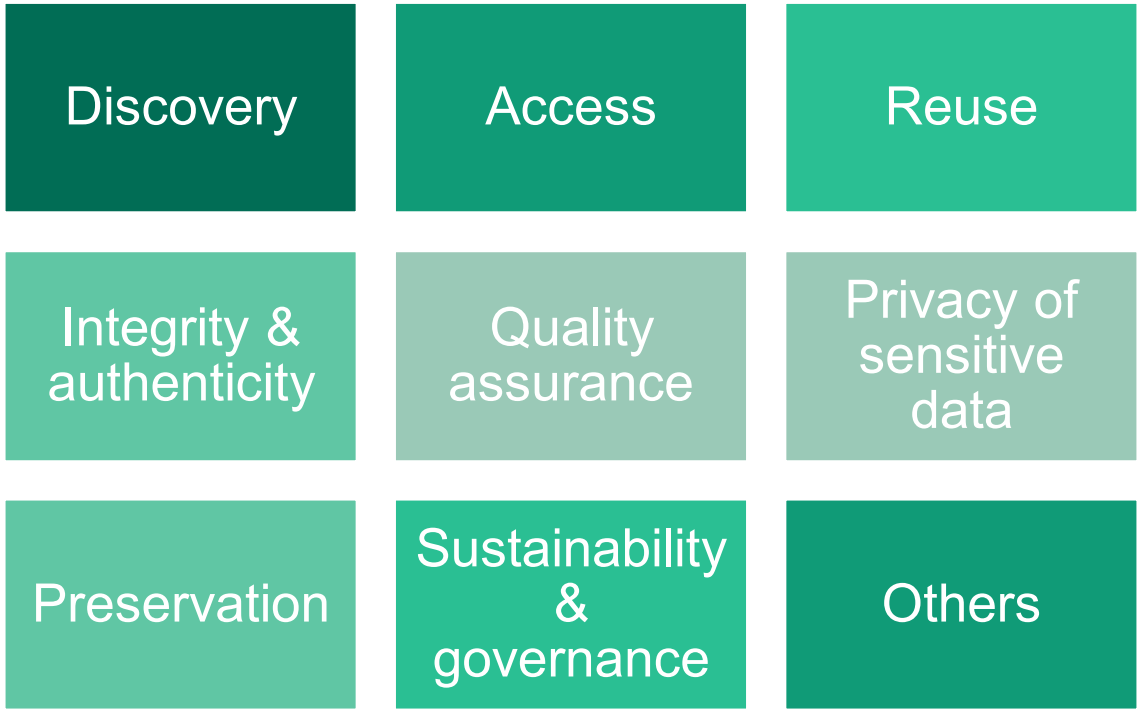
- COARが作成したリポジトリのフレームワーク ”COAR Community Framework for Good Practices in Repositories” を用いて国内の機関リポジトリを評価・分析し、課題の抽出を行う

メンバー（2021年5月現在）

- 吉田　幸苗　　国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長【運営委員会委員】
- 菅原　光　　一橋大学学術・図書部　学術情報課　電子情報係長　【（兼）コンテンツ流通促進作業部会】
- 河合　将志　　国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター 特任研究員　【（兼）コンテンツ流通促進作業部会】
- 南山　泰之　　国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター 特任技術専門員　【（兼）研究データ作業部会】
- 安原　通代　　国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室主任　【（兼）研究データ作業部会】

COAR Best Practices Framework for Repositories

Public Version 1. 8 October 2020



- 既存のリポジトリ評価基準を多角的に分析して要件を抽出したフレームワーク
- リポジトリが適用可能で達成可能な一連のグッドプラクティスを提供
- 現在の運用を評価し、改善することに役立つ

COAR community frameworkの特徴

Diversity

多様な地域、小規模なリポジトリを含む様々なコミュニティの関係者によって開発されている

Standardized

各項目は他の推奨基準やフレームワークによって標準化されている

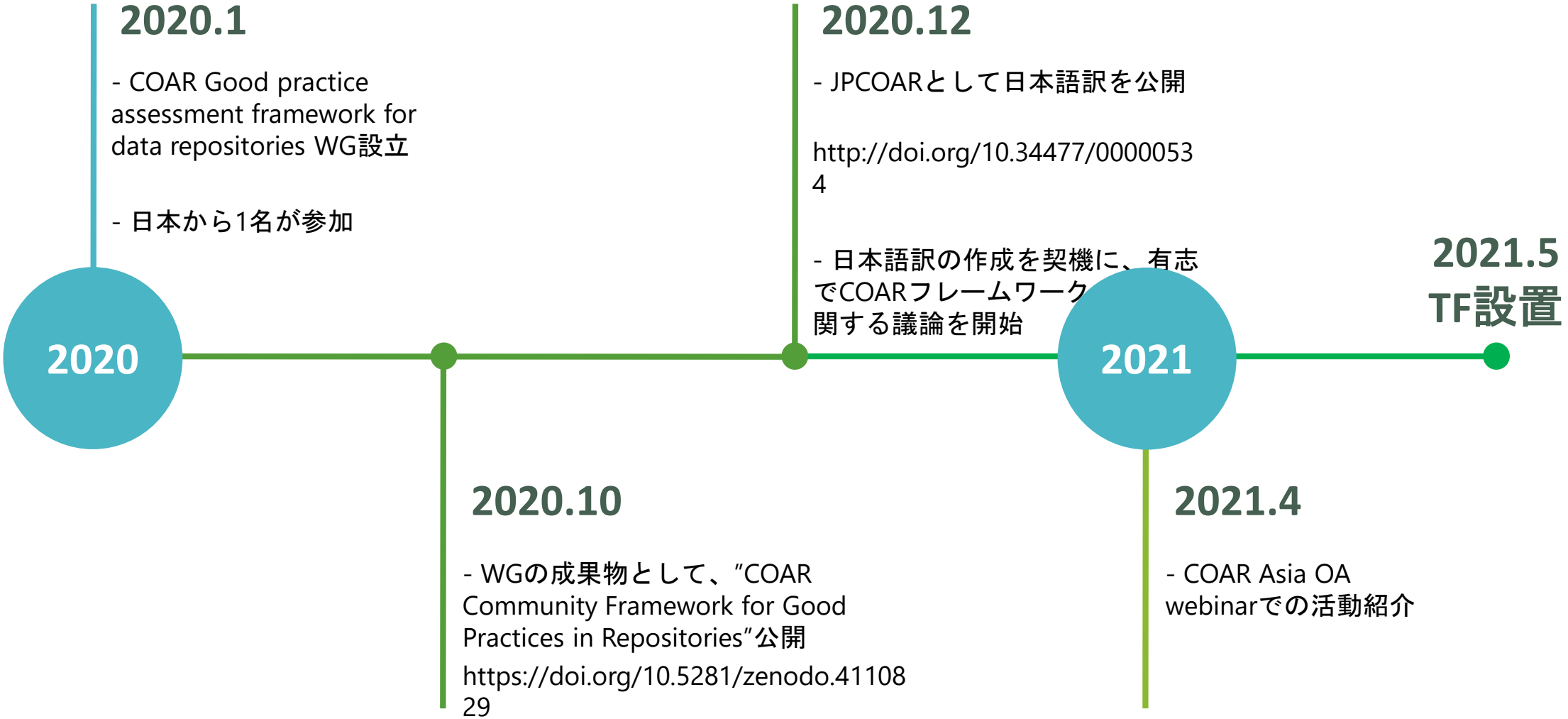
Content agnostic

特定のコンテンツが持つ性質に捉われないリポジトリの特徴を表現している

Ref: OpenAIRE interview: Kathleen Shearer on COAR's newest community framework
https://www.openaire.eu/kathleen-shearer-on-coar-s-newest-community-framework

タスクフォースの活動紹介

タスクフォース設置までの経緯



日本語訳の公開

COAR Confederation of Open Access Repositories　JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会

リポジトリのグッドプラクティスのための COAR コミュニティフレームワーク

第 1 版 – 2020 年 10 月 8 日

目的	必須の特性	望ましい特性
発見可能性	1.1 リポジトリは、高品質なメタデータと統制語彙（分野ベース、地域ベース、または一般的な（例：ダブリンコア）メタデータスキーマ）をサポートする 1.2 リポジトリは、 OAI-PMH を用いたメタデータのハーベスティングをサポートする 1.3 リポジトリ内のメタデータは、リソースが利用できなくなった場合でも利用可能である 1.4 リポジトリは、リソースが利用できない場合でも、リソースのランディングページを指す永続的な識別子(PID)を割り当てる 1.5 リポジトリは、検索機能を提供しているか、メタデータが外部のディスカバリーサービスやアグリゲータによってインデックスされている 1.6 リポジトリは，1 つ以上の分野また	1.7 リポジトリは，論文，データ，ソフトウェアなどの関連リソース間のリンクをサポートする（例えば，他の場所にある関連リソースの PID を含む） 1.8 リポジトリは、HTTP リンクヘッダをサポートし、アイテムに関連付けられたメタデータレコードやコンテンツリソースの自動的な発見を提供する。COAR は、これをサポートするために Signposting タイプのリンクを推奨する 1.9 リポジトリは，著者，資金提供者，資金提供プログラム及び助成金，機関，その他の関連団体に付与された PID をサポートする 1.10 リポジトリ内のメタデータは、クリエイティブ・コモンズ・パブリック・ドメイン・ライセンスの下で利用可能であり、標準的な書誌形式でダウンロード可能である 1.11 リポジトリのメタデータは，人間が読める形式及び機械が読める形式で利用できる

http://doi.org/10.34477/00000534

活動1：COAR community frameworkチェックリストの作成

目的

- フレームワークを用いて、リポジトリの**相対的な**評価を実施したい
  - リポジトリの方向性や戦略を考える際に有用

課題

- フレームワークは機能のあり方を定めており、実現方法には解釈の余地がある
  - 国別、地域別に取り得る選択肢は異なる
  - 機能の実施レベルを評価できない

アプローチ

- 実務的に判断可能なチェックリスト＋解説を作成する
- 9つの要件から、90のチェック項目を抽出

2021年11月18日公開

チェックリスト本体：
9シート+Legendで構成

1. 発見可能性（31項目）
2. アクセス（11項目）
3. 再利用（10項目）
4. 完全性と真正性（9項目）
5. 品質保証（7項目）
6. センシティブデータ／プライバシー（4項目）
7. 保存（7項目）
8. 持続可能性とガバナンス（2項目）
9. その他（9項目）

Special thanks:
末田真樹子氏（NII）、大園隼彦氏（岡山大学）、片岡朋子氏（お茶の水女子大学）、岩井雅史氏（信州大学）

https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/2000087

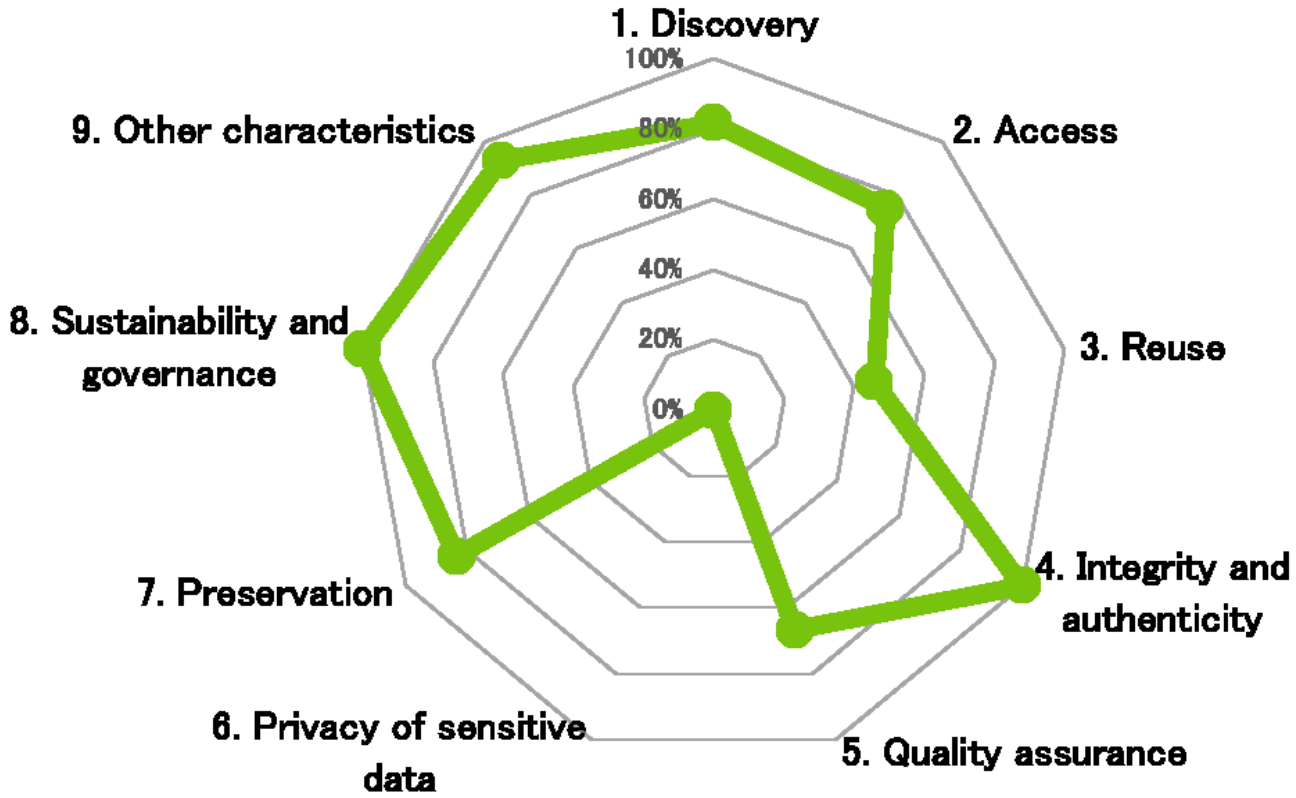
チェックリストの構成

No	特性	カテゴリ	判定	チェック項目	解説
1	1.1 リポジトリは、高品質なメタデータと統制語彙（分野ベース、地域ベース、または一般的な（例：ダブリンコア）メタデータスキーマ）をサポートする	必須	○	1.1.1 リポジトリは、高品質なメタデータ作成をサポートする何らかの機能を有していますか。 ☐ はい ☐ いいえ	メタデータ登録時、何らかのメタデータスキーマや統制語彙を利用している場合は「はい」を選択してください。
2				1.1.2 1.1.1で「はい」と回答された場合、リポジトリのメタデータ作成時に準拠しているスキーマやフレームをお知らせください（複数選択可）。 ☐ JPCOARスキーマ ☐ DataCite ☐ Dublin Core ☐ junii2 ☐ Learning Object Metadata ☐ LIDO ☐ SPASE ☐ 準拠しているスキーマやフレームはない	

①Yes/Noによる判定

②“Yes”の根拠となる業務の確認

チェックリストによる自己評価例



Areas for improvement

2. This is because we have not yet considered the accessibility of the site for people with disabilities, and the method of publishing large files.

3. Our repository does not support the display of CC licenses and a list of recommended file formats, and text and data mining.

5. The text and metadata published in our repository do not allow for external annotations, comments, and reviews, etc.

6. This answer was given because the research results handled in our repository are essentially open access and we do not deal with sensitive data in the repository.

- 特性別に項目の達成度を評価
- 自機関の強み／弱みを可視化できる

Ref: Development of JPCOAR Checklist and its Trial
https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/2000008

活動2：COAR Asiaとの連携

April 27, 2021

Balancing good practices with inclusivity: COAR Community Framework for Good Practices in Repositories

COAR-Asia OA and JPCOAR hosted a free online information sharing session about the repository evaluation framework. In this session, the repository criteria team from the JPCOAR will be introduced a current practice of the "COAR Community Framework for Good Practices in Repositories" in Japan.

Videos from the session are available here:

- **Why now COAR Community Framework?** Yasuyuki Minamiyama (JPCOAR, NII) https://youtu.be/eEUeKyVUQEI
- **Development of JPCOAR Checklist and its Trial**. Koh Sugawara (JPCOAR, Hitotsubashi Univ.) https://youtu.be/mjsNZ3yljMs
- **Further Strategy beyond Checklist Survey.** Masashi Kawai (JPCOAR, NII) https://youtu.be/s9N5js6fsR0
- **Q&A.** moderated by Michiyo Yasuhara (JPCOAR, NII) and Yasuyuki Minamiyama (JPCOAR, NII) https://youtu.be/mzFpMqu19KQ

https://www.coar-repositories.org/asia-oa/

Title of project: COAR Community Framework for Good Practices in Repositories - Extending the Japanese checklist to the region

Objective of project: To conduct an online survey to find out about the strengths and weaknesses of repositories in the Asian region, using the English-translated version of the checklist developed by AsiaOA repository assessment WG of the COAR Community Framework for Good Practices in Repositories

Link: https://www.coar-repositories.org/coar-community-framework-for-good-practices-in-repositories/

Considerations:

- Refer to the questions in the Japanese checklist (translated into English) shared by Yasuyuki (see email dated 25 June 2021).
- Consider potential user experience of survey participants.
- Keep the total estimated response time to a maximum of 30 minutes.

Contributing COAR Asia OA Members:

- Japan: Yasuyuki MINAMIYAMA - email: minamiyama@nii.ac.jp
- Ukraine: Iryna KUCHMA - email: iryna.kuchma@eifl.net
- Korea: Dr Tae-Sul SEO - email: taesul@gmail.com
- Singapore: GOH Su Nee - email: sunee@ntu.edu.sg

- 4/27 Asia OA seminarでチェックリストの実践について情報共有
- リスト項目を英訳し、COAR Asia参加機関合同のオンラインサーベイを企画中

今後の展開

チェックリストを用いたアンケート調査の実施

COAR community frameworkの国内達成度に関するアンケート調査

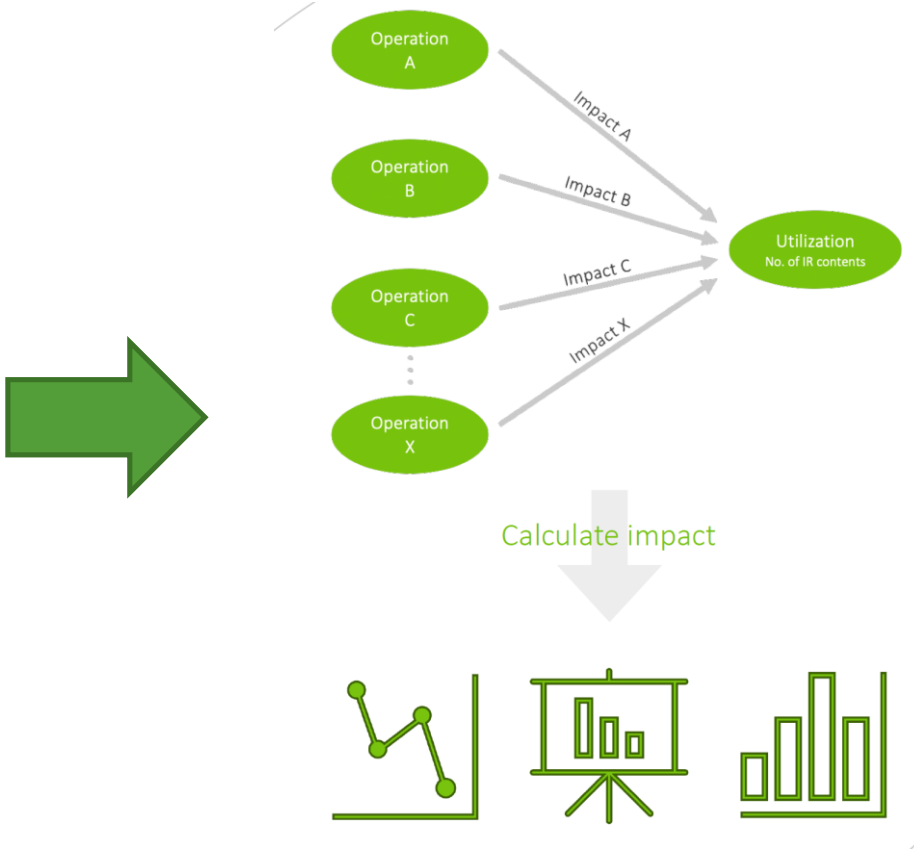
[概要]
本アンケート調査は、2020年10月にオープンアクセスリポジトリ連合（COAR）から公表されたリポジトリのフレームワーク"COAR Community Framework for Best Practices in Repositories"が、国内のリポジトリ保有機関でどの程度達成可能かどうかを把握するために行うものです。

COAR Community Framework for Best Practices in Repositories (Public version 1)
https://www.coar-repositories.org/coar-community-framework-for-good-practices-in-repositories/
日本語訳：http://doi.org/10.34477/00000534

リポジトリ担当者は、本フレームワークを利用することにより以下の実践が可能になります。

1) COARが定めるグッドプラクティスに基づき、自機関のリポジトリを評価する
2) 改善点を見つけ、将来に向けた機能、ポリシー、運用について検討する
3) 機能開発や運用を国際的なフレームワークに沿って行うことで、執行部や資金提供者への説明責任をよりよく果たす

Coming soon



- 国内機関へ、チェックリストを用いたリポジトリ運用のアンケート調査を実施
- 達成度データを分析し、機関リポジトリの利活用促進に影響を与える運用を把握
- JPCOARの活動計画の策定、COARフレームワークへのフィードバック等に活用